

SSTL 虹のかけはし 私たちからあなたへ

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0011 川口市元郷1-10-13
編集人 社会福祉法人川越にじの家
障害者支援施設にじの家
施設長 菊池 崇臣
〒350-0002 川越市古谷本郷992番地
TEL 049-236-0666
FAX 049-236-0665
http://www.k4.dion.ne.jp/~nijinoie/
E-mail:niji@w6.dion.ne.jp
郵便振替口座番号 00180-5-657610

No. 58

購読料 1部100円

新年度に向けて

法人の活動理念を踏まえて

理事長 野本 和幸

数年来の順調な支援費収入により、様々な施策を進めるなかで積立金の上積みなど、安定した経営環境になっております。そうした状況のなかですが、社会福祉法人の根本的活動理念は地域ニーズに応じた事業展開を行うことにあります。

決められた事業にしか手を出さないのでは税制優遇の合法的根拠がないとのことで、社会福祉法人の見直しを検討するとの国の動きもあります。

今年度の法人の課題はグループホーム建設に向けて具体的に取組んでいくことですが、その先も広い視点から地域貢献を推進していく努力が欠かせないものと考えております。

また、経営を考える時、大切なものは人であり、やりがいを感じて楽しく働ける環境提供こそが法人の将来を左右する。このことを肝に命じ、利用者主体の支援理念に添った施設運営を進めていくことで、展望がみえてくるものと確信しています。理事長として、七年目を迎えることになりました。改めて初

心に戻り、日々努めてまいりたいと考えておりますので、今年度も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新たな決意で

施設長 菊池 崇臣

皆様方からの常日頃からのご支援・ご協力に対し、深く感謝申し上げます。

昨年度川越市より指定を受けました特定相談支援事業も軌道に乗れ相談員も毎日忙しくしているなか、当法人では、今年度四月より川越市の障害者相談支援事業の業務委託も受託することとなりました。ますます他事業所をはじめとする関係機関との連携を密に図っていくことが求められる立場になりましたことから、新たな決意で取組んでいく所存です。

さて、当法人の今年度の課題は、理事長の文章にありますとあります。その中の一つに人材の確保と育成が挙げられています。なかでも育成は最終的なゴール設定の難しい課題ですが、職員を育成していくためには、まずは人材を確保する必要があります。特に次年度は、働く若い世代が減少する中、景気回復

を見越して一般企業の採用枠が大幅に拡大するのではないかと見方もされていますので、厳しい状況が予想されますが、単なる人集めではなく、育成に力を入れていくこともPRし確保に努めていきたいと思っております。今年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

一層の活性化を目指して

後援会会長 田中 恒志

平成二十六年年度の定例総会が多くの会員の皆様のご出席のもと先日開催され、二十五年年度の活動状況及び決算について承認されました。続いて二十六年年度の活動目標及び会計予算について一層の努力値を込め承認されました。役員体制も会計監査の方が都合により退任され新任の方が選任され会長以下、副会長、書記、会計の四名は留任として

次年に引き続き役員として目標達成の為協力して一層の取組みをする年となりました。皆様には引き続きご支援、ご協力下さるようお願い申し上げます。特に今年度の活動の重点策として昨年に引き続き広報活動に努力を傾注してまいります。毎年秋に施設の行事として行なわれる

「ふれあい祭り」にボランティアとして参加された方々に確認したところ後援会とその役割についてほとんどの方がご存知ありませんでした。会員拡大策の第一歩が多くの人に後援会組織とその役割について知って頂く為の活動を積極的に展開する事が重要であり、それらがそのまま「にじの家」の運営への大きな支援となつてい事をもちと多くの人に知って頂き支援の輪を広げていく施策としていろいろなお機会と捉え活動を展開してまいります。

平成二十六年年度後援会役員

- 会長 田中 恒志
- 副会長 宇山 星子
- 書記 小笠原 直美
- 会計 井口 信子
- 会計監査 野本 寿美

新年度に向けて

家族会会長 逆井 克己

最近の研究によれば、私たちが認識している空間は、温度や色などと同じく、基礎理論の段階では存在しない二次的な概念のひとつであるとのこと。ありがたいことに、これを理解できるだけの頭脳を備えていませんので無用の混乱はしなく

て済みですが、それでも、結局人間の感覚は思い込み支配されているのだと、半可通なりにあらためて納得しています。

思い込みが必ずしも悪いこととは限りませんが、日常の数ある場面で、有効な方策への道筋を妨げる主因となっていることはたしかです。

会員の高齢化が進み、家族会としてできることは年々狭まってきたという考えが私たちにあるとすれば、これもまた思い込みなのではないかと。

もちろん、いままでと同じことを同じやり方で進めようとするれば、そこに無理があることはおのずと明らかです。

しかし、にじの家の利用者たる彼女らの家族として、現在、そしてこれからやるべきこと、できることはまだまだあるはずで、これまでの思い込みにとらわれず、もう一度考えてみようではありませんか。

新しい年度にあたり、このことをあえて呼びかけたいと思います。

▼平成二十六年年度家族会役員

- 会長 逆井 克己
副会長 唐津 明
書記 黒沼 淳子
監査 滝沢 亮子
嶋田 麗子

平成26年度 事業計画

【経営の基本方針】

障害者支援施設移行後、支援費収入が安定的に確保されている状況が続いております。第2作業場の土地の購入や「きゃろっと」の開設、本体施設の外装工事など進める中でも将来に備えての積立金の増額も見込めております。

25年度に開設した相談支援事業については、26年度から川越市の委託事業も受けることになり、地域ニーズの把握や職域拡大を一層進める環境になりました。社会福祉法人の根本的活動理念は地域ニーズに敏感に対応し、必要と思われる福祉サービスを法人自らが開拓していくことにあります。さらなる事業拡大ということから、法人で意思決定されたグループホーム建設に向けて具体的に進めていくことが新年度の課題となります。様々な課題やハードルがありますが実現に向けて取り組んでまいります。

法整備が進められているなかで、虐待や暴行などの不祥事が組織がらみの事件として報じられております。新年度においても日常の良質な利用者支援が経営の根幹であることに変わりありません。そのため、働きがい、一体感のある職場づくりに向けて引き続いて新たな知恵や工夫のもとに組織が一丸となって取り組んでいく必要があります。さらに、危機管理への対応、施設の計画的な老朽化対策なども経営に求められております。

そうしたなかで、法人経営、施設運営の安定継続を目指して地域との融和を基本に収支バランスを図りながら健全運営に努めていくことが経営の基本方針となります。

平成26年度 収支予算書

《社会福祉法人川越にじの会 収支予算書》

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 寄付金収入	1,000,000	1 人件費	1,000,000
2 雑収入	360,000	2 事務費	130,000
経常収入計	1,360,000	経常支出計	1,130,000
		(予備費)	230,000
収入合計	1,360,000	支出合計	1,360,000

《障がい者支援施設にじの家 収支予算書》

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 介護給付費収入	237,100,000	1 人件費支出	170,560,000
2 特例介護給付費収入	6,533,000	2 事務費支出	16,673,000
3 利用者負担金収入	20,940,000	3 事業費支出	38,670,000
4 経常経費補助金収入	964,000	4 拠点区分間繰入金支出	11,000,000
5 寄付金収入	2,000,000	経常支出計	236,903,000
6 雑収入	4,900,000	固定資産取得支出	4,500,000
経常収入計	272,437,000	積立預金積立支出	30,000,000
	0	(予備費)	1,034,000
収入合計	272,437,000	支出合計	272,437,000

《障がい者支援施設にじの家 短期入所 収支予算書》

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 介護給付費収入	1,500,000	1 人件費支出	1,453,600
2 利用者負担金収入	120,000	2 事務費支出	0
3 経常経費補助金収入	20,000	3 事業費支出	124,000
経常収入計	1,640,000	経常支出計	1,577,600
		(予備費)	62,400
収入合計	1,640,000	支出合計	1,640,000

《相談支援事業 収支予算書》

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
1 サービス利用計画作成費収入	2,640,000	1 人件費支出	15,364,000
2 経常経費補助金収入	5,264,000	2 事務費支出	2,010,000
3 拠点区分間繰入金収入	11,000,000	3 事務費支出	815,000
経常収入計	18,904,000	経常支出計	18,189,000
		固定資産取得支出	400,000
		(予備費)	315,000
収入合計	18,904,000	支出合計	18,904,000



入職者の紹介

新年度となり、新たに三名がにじの家の職員となりました。生活支援員や看護師、調理師など職種は様々ですが、皆で一丸となり利用者の方々の生活を支えていきたいと思っております。

◆生活支援員 浮島 聡香

*誕生日 十月二十二日
*出身地 埼玉県朝霞市
*趣味 読書・紅茶を飲むこと



はじめまして、今年度よりA棟所属になりました浮島聡香と申します。大学では、精神保健福祉を勉強してきました。すぐには覚えられないことが多いかと思いますが、粘り強く頑張りますのでよろしくお願致します。

◆看護師 梅澤 秀江

*誕生日 七月二日
*出身地 埼玉県南埼玉郡宮代町
*趣味 ガーデニング



この度、二月より医務室で勤務しております梅澤です。障がい者施設での仕事は初めてですが、他職種と連携を取りながら、利用者の皆さんの体調管理を中心に安定した生活が送れるよう支援させて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

◆調理師 伊藤 登美子

*誕生日 三月六日
*出身地 大阪府寝屋川市
*趣味 津軽三味線・民謡



大阪生まれの大阪育ちで、お好み焼きとたこ焼きで大きくなりました。利用者の皆様の日々の生活が食を通して充実される様に、より美味しい食事作りを心がけて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

にじの家 『作品紹介』

にじの家では、週三日間の中で様々な班に分かれて作業を行っています。今回はその中でも作品を作っている班の作品紹介をしたいと思います。

■ 織物班

織物班担当 重野 涼子

織物班では、卓上織り機で行う平織りとスウェードン布を使用した刺繍を行っています。織り機では、定番となっているコースターはもちろんのこと、加工作業を行い、ティッシュケースやペン立てなどを作っています。色合いについては、季節が感じられるように工夫し、考えて制作しています。刺繍では一人ひとりが可能な模様で大・中・小の様々なサイズの敷物を作っています。是非、一度ご覧下さい。



■ ハガキ班

ハガキ班担当 田原 千賀

ハガキ班では、牛乳パックを原料として、手作業で紙すきを行っています。すいた紙をアイロンで乾かしてから加工をすることで、ハガキやコースター、メッセージカード等を作っています。季節に合わせて桜やかたつむりのコースター、クリスマスカード等、様々な種類のものを作成しています。様々な工程の中で利用者の方、一人ひとりが出来ることに取り組んでいます。



■ 陶芸班

陶芸班担当 日隈 聡

陶芸班は男性9名で活動しています。日々、粘土と向き合いながら作品作りをしています。主な作業として、形成・割り・仕上げ・釉薬つけ・窯入れを職員と一緒に進めています。釉薬つけや窯入れの時は、陶芸家の方に来所して頂き、陶器の焼き上がり具合が良くなるように教えて頂きながら取り組んでいます。完成した陶器は、近隣のデパートや喫茶店の一角に置かせて頂き販売しています。

ボランティア紹介 & お知らせ

◆◆今号までにお世話になった
方々を紹介します◆◆

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

- 関口留美子・鶴見修・鶴見真哉・
- 横山晃・GS会・ソーラ電機・
- 谷平秀子・立原電機(株)・(株)服部
- 金属・金子商店・岡田屋・春陽
- 苑・菅間工業・(有)ヨシダ・出口
- 商店・角田屋酒店・江島工業・
- 虎屋商事(株)・(株)富士薬品・三陽
- 工業・環境プラザ(つばさ館)・
- 川越東高等学校・えすばわーる
- 伊佐沼・(株)平井スチール・(株)伸
- 栄製作所・川松電機・常盤工業
- (株)・(有)加藤工業・ブックマイン
- ド・泉名本店・ほぶらの樹・(有)
- 日東住設工業・日本サツシガラ
- ス(株)・グリーンロジテック(株)・
- 志村農園・川越市役所・南古谷
- 大樹作業所・川越アトシ福祉の
- 店・高階市民センター内福祉喫
- 茶 茶房ひととき
- くじの家の生活や行事におき
- ましては大変お世話になりました
- た。心より御礼申し上げます
- ★皆様からの
- ご支援に感謝して★
- 平成二十六年一月一日から平成
- 二十六年三月末日までに「川越
- にじの会後援会」にご寄付いた
- だいた方々のお名前を掲載致し
- ます。
- なお、紙面の都合上、敬称は

略させていただきます。

△後援会加入者▽

- 上原一郎・上原満里・出口恵美・
- 桑田和美・磯部博正・山田容昌
- 枝・大森武男・野本和幸・井口
- 洋二・金澤昌敏

後援会会員募集

「にじの会」の活動をご支援くだ
さる会員にご加入ください。

【会費】年額一〇

個人 二、〇〇〇円

法人 一〇、〇〇〇円

【郵便振替口座】

番号 〇〇180151657610

名称 川越にじの会後援会

△一般寄付者▽

社会福祉法人川越にじの会後援
会

平成25年度後援会会計報告

《収入の部》 (単位:円)

項目	決算額
前年度繰越金	49,518
後援会会費	1,550,200
その他の収入	71,300
寄付金	0
合計	1,671,018

《支出の部》

項目	決算額
法人への寄付金	1,600,000
通信費・雑費	18,425
内訳	事務費他 (245)
	通信費 (7,380)
	払込料金 (7,800)
	活動費 (3,000)
慶弔費 (0)	
次年度繰越金	52,593
合計	1,671,018

去る平成26年4月21日(月)に総会が
行われました。
今後ともご支援・ご協力をお願い致します。

理事・監事改選

去る平成二十六年三月二十三
日に開催された評議員会におい
て、任期満了に伴う理事・監事
の選任が行われました。また、
同日に新たに就任予定の理事・
監事で理事会が開催され、そこ
で理事長及び常務理事の予選が
行われました。

- 【理事長】 野本和幸
- 【常務理事】 菊池崇臣
- 【理事】 嶋田剛・杉山忠三
前田敏男・丸田寿夫
渡辺登喜男

- 【監事】 大竹喜一・鈴木信一

《任期》
平成二十六年四月一日～
平成二十八年三月三十一日

退職者紹介

- *支援員 尾田 真知加さん
平成二十六年三月三十一日付
- *支援員 古志 菜由さん
平成二十六年 二月十五日付
- *調理員 中田 良子さん
平成二十六年三月三十一日付

編集後記



満開だった桜が散り、新緑が
色鮮やかになってきましたね。
新年度も始まり私たちの広報
作りもスタートを切りました。
新たな担当者を迎えて、どんな
広報を作り上げていけるのかワ
クワクワしています。

今年度も、チーム一丸となっ
て皆さまに素晴らしいと感じて
いただけるような広報誌を目指
し、日々精進して参りたいと思
っております。
これからもう愛読の程、どう
ぞ宜しくお願い致します。

【広報担当】

- 佐藤照美 大隈雄児
- 日隈 聡 重野涼子
- 中村日向子 浮島聡香